



# 柏ビレジ・ニュース

柏ビレジ自治会発行



2000年12月1日

## 大健闘！田中地区市民運動会

実行委員長 野村優子



自ら作り上げていくための市民運動会です。

去る十月一日(日)、前夜からの雨の影響で一時間遅れの九時三十分から、田中地区十六町会が集まり田中中学の校庭で市民運動会が開催されました。

本大会は、スポーツを通じて田中地区住民が連帯感を高め「ふるさと田中」を大騒ぎになりました。

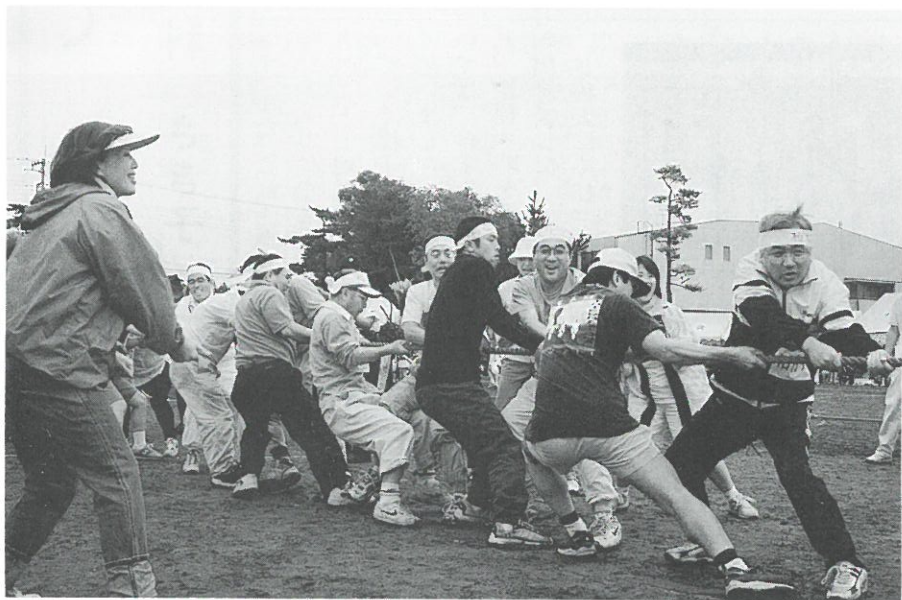
競技は、五十m、百m走、六十mリレー、綱引きなど運動会ではお馴染みの競技に加え、「宝さがし」「借人競走」子供会のお母様達が出場し最優秀賞に輝いた「かかしレース」又、第三位と健闘した「子供長縄跳び」など、楽しい競技がたくさんあり、出場者全員楽しむことが出来ました。競技の中には、町会対抗種目がありますが、その得点で順位が決まりますが、その中の「むかで競走リレー」は一位と頑

張りました。残念ながら「ポールリレー」「六百mリレー」は決勝まで進みましたが、上位入賞を果すことが出来ませんでした。しかし子供会の活躍で、運動会は盛り上がりました。

今回、事故もなく、無事終わることができましたのも、柏ビレジの皆様、自治会役員の方々のおかげです。ありがとうございました。



今年も息の合ったチームワークでみごと1位の「むかで競走」



大健闘虚しく体重の差(?)で負けた「綱引き大会」

十月一日に行なわれた、田中地区市民運動会に柏ビレジ子供会の活動として、地域の皆さんとの交流があり、楽しい一日を過ごすことが出来ました。子供会として三つの出場枠があり、それぞれに賞をいただきました。担当者一同大変喜んでおります。運動会当日の朝、雨でスタートが一時遅れとなりぬかるんでいる運動場で、朝早くから一生懸命に協力して下さった自治会、子供会の役員の方や、多くの皆様の御支援、御協力により、田中地区市民運動会も無事に終えることができました。

### 頑張った子供会

子供会運動会担当班 班長 森下悦子

私自身楽しみながら子供と、これからの地域のふれあいを大切に行きたいと思っています。



3位



準優勝



21世紀に伝えたい昔ばなし「桃太郎」最優秀賞



# 平成12年度 柏ビレジ文化祭



## 文化祭を終えて

実行委員長 保科 さき子



冬の近づいた気配が感じられる晩秋に、恒例行事となりまして第十五回柏ビレジ文化祭が開催されました。私事ながら越してきまして七年目、役員をお受けしましたのも初めてであり、戸惑う事も多々ありましたが多くの方々のご尽力をいただき無事終了することができ、今は、安堵感でいっぱいです。

今年度も会場は花野井小

学校の体育館をお借りしました。校長先生をはじめ小学校の職員の方々には細部にわたりご配慮いただきました。また松葉近隣センターからは快くパネルを借していたいただきました。御礼申し上げます。出展作品も盆栽、書道、華道、水彩画、油絵、シャドーアート、中国切り絵、和紙絵、パンフラーワー、手芸、写真、テーブルコーディネート、と多岐にわたり展示、発表していただきありがとうございます。素晴らしい作品が多く、毎年、鑑賞するのを楽しみにしている方も大勢いらっしゃるとお聞きしてい

ます。また、これを機会に教室にお入りになる方もあるとのこと。地域の輪が広がっていく様子が伺えて嬉しく思いました。お茶席においては、日常の雑事から離れ、至福の時を過ごすことが出来ました。日程表にくびっぴきの毎



日でしたが、無事終える事ができました。役員一同、厚く御礼申し上げます。柏ビレジが今後も素晴らしい、住み良い街であります様に願っています。文化祭に関する御意見御感想等をお待ちしています。来年度の参考にさせていただきます。ご協力の程、宜しくお願いします。



## 21世紀へ：心の潤い

(私のロンド)

鳥羽々 善子

私たちは「池坊いけばな」と「マナコフラワーデザイン」を勉強しているグループです。

まもなく新しい世紀を迎えようとしているこの時期を踏まえ、テーマを「21世紀へ：心の潤い(私のロンド)」と題して、歴史から新しい未来への展開、また、オリエンタルな視点からグローバルな世界への展開に試みてみました。



お花は生きものです。同じ花材でもその時により少しずつ表情が変わります。「花は人なり」と申しまして、いけるたびに作品の仕上がりが変わります。いける心境によって変化する花たちがいとおしくって、花をいける喜びを多くの方々に見ていただこうと何年



今年も文化祭に参加させて戴き、皆様に見て頂きまして感謝しております。又、皆様の出品作品がどれもこれもすばらしいものばかりで、毎年楽しませて頂いている一人です。茶道のお手前や静寂の中での一服に心をなごませて頂きました。柏ビレジに住んで十五年になりますが、すばらしい手芸の先生に出合い巾着の手芸を知りました。フランス刺繍、ビーズ刺繍、ぬいぐるみ、ツールペイント、袋物等作って頂きました。「みもさの会」は五、六人でやも文化祭に出展させていただいております。柏ビレジの文化祭に出展することは私たちには大変なプレッシャーです。グループの全員が夏休み以降少しずつ練習して、二日前から心臓ドキドキでいけ込みました。できるだけ多くの方々に楽しんでいただけたらと思いつつ心を入れ替えて制作しました。これからも多くの方々に私たちのドキドキと喜びを見ていただきたいと思ひます。今年も多くの暖かいお言葉ありがとうございました。最後にになりましたが、会場設営をはじめ、ご苦労いただきました役員の方々にご心より御礼申し上げます。

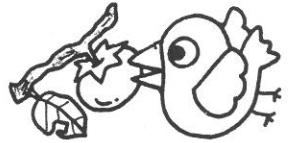
## みもさの会

手芸との出会い  
中村 美智子



っておりますが、都合により現在は数人でやっております。皆さんとの集いの中でアイデアや工夫を交換しあい楽しんで来ましたが、来春から「手芸の集い」を思っております。作ってみたい方、好きな方と一緒に楽しみをわかちあいたいと思ひます。又、時間の許すかぎり続けてゆきたいと思っております。よろしく御礼致します。今後共、柏ビレジの文化祭が益々発展されますよう祈っております。





# 備えあれば

## 憂いなし

防災部長 三好宣和



昨今の火山の噴火、鳥取西部地震の被害をみるに、関東においても同様の事態が今すぐ起きてもおく不思議ではありません。しかし、その発生を阻止する力がな

い限り、わたしたちのできることは、①防災意識の普及、②初期の消火訓練、炊き出しの訓練、③防災環境

ふるってご参加下さい。③の防災環境点検は、これから取り組んでいく必要があります。④については、実際の訓練時にも確認していきます。

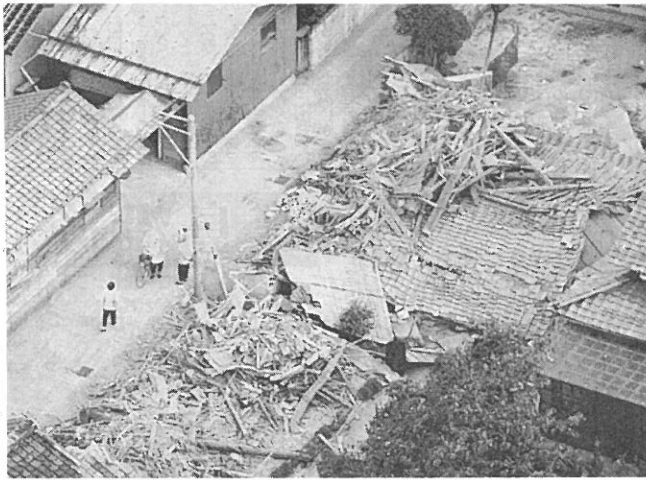
さて、それでは、実際に大地震に遭遇した時、具体的にどうしたらいいのでしょうか。『柏市地域防災計画』

○市の情報収集基地  
田中地区は、田中近隣センター(田中中学校隣り)緊急時、田中地区居住の市職員はここに集まることになっています。

○液状化の危険度  
川沿いの低地及び、手賀沼沿いの低地が高いと予測された。ただし、高度に利用されている場所のほとんどは液状化の危険性が小さく

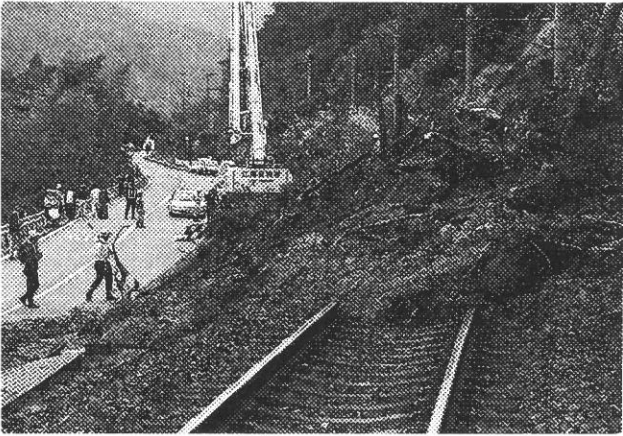
現在都市利用がほとんどとされている手賀沼・利根川沿いの低地が開発されない限り、本市は液状化の危険性はかなり小さいといえます。

(市防災計画書より)  
防災は、日頃のご近所のお付き合い、生活マナーの中からも育ちます。お隣りに何人の方がお住まいか知っていれば、家屋倒壊時に、一人の命を救うことにつながるものだと思います。



の点検、④防災器機の点検です。

①については、こうした広報活動もその一つです。②については、十二月に初期消火訓練、一月に炊き出し訓練を実施する予定です。



と、柏市役所総務部防災課の話によるいくつかの情報を御報告いたします。

○災害時の避難所  
柏ビレジの居住者の避難の予備を各支部長に携帯し

### 第三支部 西井正雄

私は柏ビレジに入居して十五年になりますが、今年度、自治会の役員に携わることになりました。支部長になって最初に感じたことを率直に申しますと、回覧

が多いということです。その配布に時間を費しますが、この頃は要領を得、家内と二人三脚で時間も短縮し、スムーズに配布

できるようなになり、また支部長の役割も少しずつ理解できるようになりました。

柏ビレジ最大イベント、夏祭り、早朝より役員が集合し、テント張り、物品の搬送やら、猛暑の中、設営の準備に追われました。昼食の弁当を食べる頃には、い

### 第五支部 安川修治

布施新町から転居して間もない三月、「運よく」支部長に「当選」しました。これからは永いつきあいになるだろう、「この街」を知る

良い機会だと考え、支部長をお引き受けしました。文書などを班長さんに届けるのが主な仕事で、積極的にコミュニケーションに入り込み、皆さんのお役に立つためには、まだ至りません。

想えば昨年八月、不動産屋さんに案内されて初めて、柏ビレジを訪れました。近隣公園に建てられていた盆踊りの櫓が印象的でしたが、一年後に夏祭りを手伝っている自分の姿を想像することさえできませんでした。

緑豊かな生活環境に家族全員が魅せられ、住み始めた私達ですが、とりわけ気に入っているのは、あちこちに巡らされた緑道です。プライバシーや日照の確保だけではなく、住んでいる

### 支部長だより

戦で敗退でした。その他の競技は婦人の活躍で、我が自治会は優秀な成績を上げることができました。押田自治会長始め、役員の方の熱意に触れ、楽しく活動をさせていただいております。長年自治会を支えて来られた諸先輩の御苦労の一端を、支部長の経験を通して知ることができました。残る任期を自分なりに貢献してま

いりたいと思います。

最近、子を持つ親の一人として「変な若者」が多い事が気になります。私は利根川の土手沿いに住んでおり、子供がまだ小さいので、土手でボール遊びや、そりすべり等をするのですが、犬の糞がいたるところにあり、子供と遊ぶより犬の糞に触れないようにする事に神経を費やして

前に、まず大人自らが襟を正す必要があるのでは…。

### 岡山 修

「開いた口がふさがらない」とは、まさにこのことでした。役員会での議題としてはこのほかにも、住民から要望で設置したはずの街路灯を「明るすぎるので撤去してくれ」と逆要望される始末です。そして、自治会に対する一方的な内容の投書のほとんどは無記名で送られてくるそうです。

最近の若者について嘆く前に、まず大人自らが襟を正す必要があるのでは…。

## 柏ビレジ餅つき大会のお知らせ

とき：平成13年1月14日(日)  
じかん：午前11時～午後2時(予定)  
ところ：柏ビレジ近隣公園

当日はおはし・お皿を持ってきて下さい。  
ペットを連れてのご来場はご遠慮下さい。

# 建築協定 委員会便り

柏ビレジ建築協定委員長  
小澤 英明

十月三十一日に柏市に建築協定の更新申請書を無事提出しました。おかげさまで全体で一三〇〇区画のうち九十五%を超える同意を集めることができました。今年七月月中旬から各家庭を訪問する作業を開始しました。また、国内遠隔地および海外にお住まいの所有者には郵便や電話でお願いしました。予想どおり大変な作業量でしたが、幹事委員をはじめとする委員の方々の絶大なご協力のもと、

申請までこぎつけることができ、ほっとしています。現在、柏市が申請添付資料の審査を行っています。十二月半ばに不備なところの補正を完了して、来年四月からスタートする新しい建築協定区域が定まります。来月、一月または二月に公聴会が開かれ、その後認可になる見通しです。今回は、第一支部のアパートの周辺などまとまって区域に入らないところが発生したりしたため、十年前のようにほぼ完璧な同意取得というわけにはいきませんが、新たに自動更新新条項を入れた協定ができあがります。今回の協定の締結で、柏ビレジを末永く美しく保つ基礎ができるものと喜んでます。皆様ご協力ありがとうございました。

# ガールスカウト活動紹介

森 純子

77団は柏ビレジを拠点に小中高生が楽しく野外活動や地域活動をしています。

## 野外活動

年二回の一泊訓練、三泊四日の夏団キャンプを実施しており、キャンプ生活の中で自然を学び、友情、協調性を育てています。中学生になると大きなキャンプにも参加。自ら企画し、達成感、充実感を得られるキャンプを体験しています。

## 地域活動

柏まつり、ふれあいウォーク、クリーンデー、ピレシ夏祭り出店、文化祭のお茶席とフリーマーケット、もちつきなど地域交流を大切にしています。



ボランティア活動  
隣保館老人ホーム。お掃除とお年寄りとの交流をさせていたいています。ユニセフ募金。柏駅にて大きな声で呼びかけ、77団特製でんでん太鼓を差し上げています。ピースバックプロジェクトは国連を通して難民に文具類を贈る活動で、文化祭に手作り焼菓子販売、売上げを資金にしています。



海外研修  
高校生になると集大成として海外研修を希望するスカウトがたくさんいます。今まで難関を得て英・米・独・豪に21名も参加。大自然の中のキャンプやホームステイを体験しています。

さまざまな活動  
クリスマス会、初釜、シンキングデー、観劇会、クラフト集会、年少のスケート、年長のスキー、企画集会、ギャザリング等々。

入団員募集中  
みんな集れ！小学生女の子の連絡先 31-9270 (森純子)

新樹旬会  
ふるさとの海や藍濃く天高く  
秋の蝶枯れあじさいで翹休め  
鬼子母神庭の実石榴たわわなり  
案山子には昼の弁当なかりけり  
テープ切る走者の顔のさわやかさ  
着ぶくれて妹帰るかたえくぼ  
浴衣着て踊る今宵は二十代  
鉄塔に赤い灯釣瓶落しかな  
短日となげいて急ぐ魚売  
秋深し三代將軍廟訪へば  
戸を繰れば小さな秋がすぐそこに  
秋深し水琴窟の音色冴ゆ  
秋の声催し多き掲示板  
そこはかと窓の隙間の秋気かな

- 稲葉登紀子
- 井栗 利子
- 大島 艶子
- 小山 道江
- 近藤 久枝
- 近藤キミ子
- 佐々木節子
- 佐々木光夫
- 社本 宗男
- 西山八重子
- 萩原平二郎
- 漆 かずみ
- 森本義太郎
- 未増 芳馬

# 家庭介護を通して

森下悦子



柏ビレジに在住して十六年の間に、私達家族にとり激変の時期がありました。一九九七年、九月七日に母は亡くなりましたが、家庭介護を通して色々の事を学びました。

母が九十五歳頃よりすべての介護が必要となり、夫も私も少しは気持の上での心づもりはありましたが、

今迄の生活と違い時間との闘いでした。母の部屋はベッドや酸素や医療器具が入り、病室へと変わり始めて行き、それからの毎日、朝昼夜と食事作り、つきそい、おむつの交換等々、私達の生活は二十四時間、三六五日休みなしの状況の中で、夫も私も気持までも疲れ果て、自分達

がかかえこんでしまっている苦しさやつらさで本当に息苦しい日々が続く、家庭介護の限界なのか悩み、私達の気持がぐらついては母に不安を与えてしまうのではないかと...色々な方には話を聞いていただきました。そのような時期に市の福祉介護の方々の手助けを得て利用する事により、自分達

の苦しさの負担をとり除く事が出来、同時に母に良い介護が出来るのでは、という思いもありました。三年前と現在では介護制度の違いがあると思いますが、家庭介護は大勢の方達の協力があつてこそ出来るのだと知りました。

地域の医師の先生方、福祉介護の方や民生委員の方々、そして近所の方達の「やさしい言葉がけ」に本当に心救われる思いがしました。母は月に何回か入浴介護を受け、介護して下さる方に「おおきにありがとう」という言葉を話してくれました。母が私に残してくれ

たとても大きな言葉だと思つています。「やさしい言葉」「言葉がけ」の大切さを介護を通して知り、命の最後をみとどけられたという思いと、大変でしたが地域の方の協力を得てこそ出来るのだという事を学びました。母を介護できた経験は、私達に、たくさんの方の事を学ばせてくれたという思いがしています。

十月四日(水)先負、快晴、午前七時五十分集合、会員約五十名。社本会長の「出発...」の合図で、バス発車。車内和気藹々。小学生に戻ったようなざわめきの中、旅は始まった。目的地は、NHKで好評の番組「葵徳川三代」にあやかる日光東照宮。特に今回は家光墓所大猷院の初公開が多く関心を集めている。現地にて東照宮行くと、墓所拝見組の二班に分かれ陽明門の世界的に賞賛され

(新樹会リクリエイション部)

# 日光は結構の旅

新樹会

ている、華麗な景観に酔い大猷院では、三世紀以上を秘密のベールに、隠されていた森の中の廟所を見てその荘厳さに打たれた。昼食は、松茸飯の食べ放題。帰途によつた葡萄園でも、もぎたての葡萄を満喫した。正に「日光は、結構」の例え通りの感慨が深い。ミレニアム企画として、十一月には、一泊二日の東北へ旅立つ。

